

秋分の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げる次第です。

さて九月七日の新田原基地観月会は荒木司令の肝煎りにより、今回は屋内で挙行され、多くの協力団体や基地関係者で大変賑わいました。

また同二十八日、フェニックス国際会議場で開催された「第四十七回九州・沖縄地区防衛協会宮崎大会」には西方総監宮下陸将、佐世保地方総監吉田海将、西方航空司令官福江空将の陸海空三軍の長の外に、選挙間近の与野党国会議員及び河野県知事を始め県防議連や周辺自治体の首長など、我々会員を含めると何と四百名を超える方々にご参集賜り、誠に盛大な祝賀・懇親会でした。

防衛講話は宮崎支部総会でもご講演を賜りました、産経新聞の野口裕之氏が「日本の安全保障の今日的課題」の演題で、防衛問題の専門家としての視点を持って、国内外の現状に鋭く切り込まれていました。

ところで先月は日本国民として看過出来ぬ事態が竹島や尖閣諸島で生起し、隔靴搔痒の思いで報道を聞かされ、切齒扼腕しながら遙か北方及び南西の海を睨みつけた支部会員諸兄も数多くおられた事かと存じます。

今更申し上げるまでもなく、北方四島、竹島、そして尖閣諸島が日本固有の領土である事は全く疑う余地もありませんが、所謂敗戦処理混乱の中で当時のソ連に北方四島、更に先月詳述したように竹島は韓国に実行支配されました。

かつて領有権紛争など皆無の尖閣諸島は、一九七〇年海底油田に目を付けた中共が、突然領有権を主張し始めて領海侵犯事件が相次ぐ事態となっております。

そして尖閣国有化に対抗しての反日デモの暴徒達は、故鄧小平に懇願されて中国進出したパナソニックの工場を焼き討ちし、日系スーパーに押し入った男は「有名ブランドの時計を奪い愉快だ」ともブログに書き込んでいます。

更に私が見たニュース映像は中国公安当局が仕立てたバスから大勢の若者が降りてきて、お揃いの赤いTシャツや野田首相の写真入り日の丸にXを記したプラカードを全員持たされてデモ隊に合流するものでした。

こんな官製デモや略奪者達を寄せ集め、日本大使館や日系企業を襲撃させて恫喝し、自らの主張をこり押しするような中国当局のやり方にはうんざりです。

憲法九条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」を変えねば、何も解決出来ません。

季節の変わり目に付き、何卒ご自愛専一にお過ごし下さい。

平成 二十四年 十月 一日

宮崎県防衛協会

青年部会

宮崎支部長

小倉和彦

